



鷲の宮卓話

違いを認め合う

太田敬雄

群馬には群馬県多文化共生・共創推進条例という条例があります。国籍・民族等が異なる人々が違いを認め合い、地域社会の中で共に生きる。さらに多様性を生かして新たな価値を創り、群馬に活力をもたらして誰もが幸福を感じる社会の実現をもたらすための条例です。

出発点は「違いを認め合う」ために、私たちは先ず違いを理解しようとしています。理解しなければ先に進めないように思います。現に、IIMSはそのモットーで多文化理解の重要性を謳っています。このことについてジェンダーレスモデルの井手上漠さんは「理解するという事は、少し間違えると危険なことでもあると思うんです。(略)辛い経験をしている人からすれば、寄り添って「理解します」と言われても「分からないくせに」と感じると思う。…理解するって…結構重たいこと。だから、私は認めるだけで良いんだと思う…」と語っています。

多文化理解、多文化共生の難しさもここにあります。「理解できれば認められる」かも知れません。けれども、実際には理解まで到達できないことも多いのです。理解する事は目標では有りますが、中途半端な理解はむしろ邪魔になります。「理解」することを目指し・願いつつ、先ずは相手を認めること、違いを認め合うことからスタートしなくてはならないのです。

それではどうやれば本気で「認め合う」ことが出来るのでしょうか。ノンフィクション作家

の高野秀行さんは、言語や価値観、文化の異なる人たちと仲良くなるためには「相手をリスペクトすること」と語っています。これは認め合うためには大事なキーワードで、相手に対する敬意があって始めて「認め合う」ことになるのです。

国際比較文化研究所の多文化交流では、文化も価値観も異なる方たちとお互いに「リスペクト」しあい、常に対等である事を意識しながらつながり合う交流を20年以上目指してきました。

この夏、4年の歳月を経て再開した多文化交流でも、この基本はしっかりと目指されていたことを誇らしく思います。素晴らしい交流が群馬で、そして釜山で繰り広げられました。

釜山での多文化交流参加者やその周りの方々から感想が寄せられました。「娘が写真を見返しながら、みんなと離れたくなかったと涙を流す姿に素晴らしい経験をしてきた」と感じて下さった親御さんがいらっしゃいました。また「目をキラキラと輝かせて語る参加者の姿」に大学などの交流プログラムとは一味違う深まりを感じて下さった方もいらっしゃいました。

初参加の学生は「素敵な交流と友情に溢れた1週間ですごく楽しかったです。国境を超えて友達ができ…異文化や異国の人々とのコミュニケーションができる喜びを感じました。」と語り、多文化ぐんまのスタッフも経験した参加者からは「多文化の根底にある《温かい雰囲気》はどこに行っても変わらないんだなって思いました。私が多文化を大好きな理由がこの雰囲気なんですよね。」とのメッセージが届きました。

「認め合い」と「リスペクト」に溢れた温かい多文化交流を誇りに思い、そこまで多文化交流を育てて下さった皆さまに感謝します。

多文化交流の夏が戻ってきました!!

コロナ過を経て、たくさんの『4年ぶり』が詰まったアツい8月となりました。

多文化ぐんまの8月実施(昨年の再開時は9月)、まなばるキッズの参加、多文化プサンの復活…。

学生スタッフの世代交代も進んでいる中、多文化交流が大切にしている想いは

しっかりと引き継がれ、どちらの多文化もこれからの”きっかけ”と“つながり”になるものでした。



多文化交流 in ぐんま 2023 夏

2023年8月11日~13日
~安中市 学習の森にて~



◆ スタッフ共同代表感想 ◆

今回の多文化交流 in ぐんまで、初めて代表として役割を担い、準備期間から当日に至るまで、改めて全体を見渡せた。そのおかげで、気づいたことがある。それは、このイベントが様々な“支え合い”の形の上に成り立っているということである。

今回の開催に関して賜った多くのご協力や、スタッフ同士の入念な準備や企画運営、参加者たちとの深い交流など、全てにおいて実感した。

新たな友情の輪を広げたい、このイベントを成功させたいという想いで繋がり、見事にみんなの思い出に残る交流を実現することが出来た。関わってくれたすべての方々に、心から感謝を申し上げる。

群馬県立女子大 2年
伊藤 愛



◆ スタッフ共同代表感想 ◆

スタッフとしては、3回目の多文化交流であったが、代表として迎える今回のイベントは、今までとは一味違った。中でも、スタッフ一人一人の個性や得意不得意を適切に見分け、まとめていくことはとても難しく、何度も心折れそうになった。

しかし、それでも今回のイベントを成功させることができたのは、状況に応じて臨機応変に対応し、何度も励ましの言葉をくれた、共同代表の伊藤さんとスタッフのみんなのおかげである。

また、参加者の楽しそうな笑顔を見て、今までの準備が報われたと感じた。

今回の経験は自分の将来にとって間違いなく有益であり、大切な宝物だ。

群馬県立女子大 2年
高間 咲輝



◆ 参加者感想 ◆

今回の多文化交流では新しい友達を作っただけでなく、お互いに交流することで、たくさん他の国の文化を知ることができた。

特に活動の中で、子どもたちとの宝探しとペイントシューティングなど今までも印象に残っているプログラムがあり、疲れることもあったが、とても楽しかった。初めての参加で最初は緊張したが、優しい参加者が多く、自分もみなさんの熱意などを感じて、もっと活発になりたくて、最後は家にいるようなとてもリラックスな気持ちになった。

このような活動は、年齢を問わず、異なる国籍の学生たちに異文化交流の居場所を提供し、とても有意義な経験になったと思う。

高崎経済大学 2年
杜儒君 (中国)



◆ まなばるキッズ感想 ◆

8月12日学習の森で行われた多文化交流に私は参加しました。色々な国の人達が集まり、たくさんの遊びや、いろいろな物を作りました。

その中でも、私が心に残っていることはながしそうめんです。私はながしそうめんをするのが初めてなのでどのような感じなのかとっていてそうめんを取れるのか不安でした。でも、たくさん取れたし、そうめん以外のえだ豆や、グミや、ゼリーや、ぶどうなどが流れてきてとてもビックリしました。特にぶどうを取るのが難しかったけどみんなで協力して取ったりしました。そうめんはとてもおいしかったし、楽しかったです。

私の中で多文化交流はいろいろな国の人と出会い自分が知らない文化を知ることができ、すごく勉強になりました。

次、このような交流があったら、また参加したいと思います。

塩川 香



食事ボランティアは
歴代のスタッフ OBOG たち!
この他にもたくさんの
OBOG が駆けつけて
くれました♪



まなばるキッズも
参加した流しそうめん!
竹はスタッフが
切出しました!



多文化交流 in 韓国フサン 2023

2023年8月17日~23日
~韓国釜山市と近郊にて~



韓国スタッフ代表感想

まず、4年ぶりの釜山開催を心よりお祝いし、感謝申し上げます。この一週間の記憶を今思えば夢のようです。しかし、初めて空港で皆と会う前のとときめき、サウナで汗を流しながら笑って感じた幸せ、最終日の別れを迎えて流した涙に込められた悲しみ。この3つの感情が今も完全に心の中に残っているため、夢ではないことが分かります。韓国と日本が友達になることをテーマに私たちは今回の多文化釜山を準備して活動しました。そして、その結果は成功したと思います。私も今回の交流会を通じて大切な友達を作り、自分でも大きな変化がありました。

それは友達の大切さ。世の中は一人では生きていけないということです。

私はもともと自分の成功だけを見つめる人でした。いつも忙しく生きなければならぬようで、それで大切な人たちとの時間よりは自己啓発の時間にだけ没頭したため、心はいつも空虚さに満ちていました。

そんな中、多文化である釜山を通じて新しい友人とひたすら「楽しさ」を目的に動き共有した感情がこれまでの私の考えが間違っていたことを知らせてくれました。お金と名誉だけが成功の条件ではないということ、お互いを理解する友人の重要性を、そしてその友人には国境がないということ。

いつも冷たかった私の心に少しの春が訪れた一週間でした。

そして私はこの短い春の記憶を抱いてまた一生懸命生きていきます。しかし、これからは一人の成功ではなく、私たちの成功を願って生きていきます。

この大切な経験ができるようにしてくれた NPO 法人国際比較文化研究所の人々と多文化釜山すべての参加者に感謝の言葉を伝えたいです。

釜山外国語大学 3年
のびのび会長
ビョン グァンオ



参加者感想

私は今回妹の誘いを受けて多文化交流に参加しました。変化が苦手な私は新しい場所や新しいことを避けてきたので、参加するか迷いましたし正直不安でいっぱいでした。しかし韓国のみんが優しく迎えてくれて、考えていた不安を思い出さず暇もないくらい充実した日々を過ごすことができました。

初めての場所、初めての食べ物、異なる言語や文化に触れたこと、新しい友達ができただけでなく、どれも今までの私では到底感じることはできないとても貴重な体験でした。そして何よりみんなと過ごした何気ない時間がかけがえのない宝物になりました。釜山で過ごした1週間は間違いなく私の人生の中で最も幸せな1週間でした。多文化交流に参加して本当によかったです。

ありがとうございました。

日本大学 4年
相場 東子



千マチョゴリを着て
記念撮影★
甘川文化村にて！



引率感想

韓国での一週間は、本当に充実していた。韓国の文化、美味しい料理、観光スポットもたくさん堪能し、みんなと話したり、一緒に過ごす時間がとても楽しくて、みんなと笑っていた時間がとても幸せでした。素敵な時間を過ごす中で「友達になろう」と言わなくても一緒に話して過ごす中でお互いを知って「また会いたい」という存在になる、この「多文化交流」の持つ温かい空間が私にとってかけがえのない大切なものだと再び感じました。

また、引率として参加者のサポートをするという面で、参加者との信頼関係を築くことの大切さを感じたり、韓国スタッフの皆さんの準備する姿、当日の企画やサポートする姿を見て沢山の刺激を受けました。

のびのびのスタッフの皆さん、フサン実行委員会の皆さん、参加者の皆さん、多文化交流に関わる全ての方へ。素敵な1週間をありがとうございました。

群馬県立女子大学 4年
須川 奏



サムギョプサル！
日本で食べる焼き肉とは
一味違います！



~ご寄付の御礼とお願い~

皆様にはご寄付をはじめ、日々様々な形でのご支援ご協力を頂きまして、誠にありがとうございます。お陰様でこの夏の二つの多文化交流を無事に行うことができました。

一方で昨今の不安定な社会情勢もあり、依然として予算の余裕がある運営とは言えない状況が続いています。

多文化交流のメインとなっている参加者は学生であり、授業の傍らアルバイトで参加費や交通費・渡航費を捻出するのは苦勞している様子です。

来年2月には多文化交流 in ぐんま・5年ぶりとなる多文化交流 in マランを開催すべく、動き出しているところです。

一人でも多くの学生に友達づくりのきっかけと、かけがえのない経験・交流の機会を設ける為、引き続きご協力頂けましたら幸いです。ご寄付についての詳細は4ページ目をご覧ください。

多文化交流 in ぐんま
多文化交流 in マラン実行委員会
多文化交流 in 韓国フサン実行委員会
スタッフ一同

秋のオムニバス講座：ひげじいの「Going my way」

IIMS 所長 “太田先生の授業の時間です！”

10月3日「虎の目、クジラの目」、17日「アーミッシュ」、31日「人と人の距離と文化」、
そして11月7日「ひげじいの苦手克服術」の火曜日4回 毎回20:30~21:45開催。
オンラインシステム ZOOM での開催。申し込みは：<https://onl.sc/kA2qwpB> まで。
参加費は無料です

IIMS の会員になって平和な地球を目指す活動を支えてください

入会ご希望の方は、振込用紙に「入会希望」と記載の上、正会員は3000円、賛助会員2000円お振込みください。いずれの場合も入会金は戴いておりません。

会費及びご寄付のお振込みについて：

【クレジットカードによる振込】

下記 QR コード、もしくは IIMS のホームページから
アクセスして頂き手続き・ご登録ください。



研究所 (IIMS) のホームページ
<http://www8.wind.ne.jp/mthc>

【振込用紙による振込】

郵便振替口座：加入者名 国際比較文化研究所
口座番号 00510-1-61974

ニュースレターを郵送させていただいた皆様には、
振込用紙を同封させていただきます。これは請求書
ではなく、一律に皆様にお送りしているもので、す
でに会費をお振込み下さった方にもお送りしていま

メールでニュースレターをお送りしている方々には振込用紙をお届けできません。特に会費の請求はお送り
しておりませんが、郵便局の振込用紙、もしくはカードでお振込みくださいますようお願いいたします。
また振込用紙ご利用の場合、会費か寄付かを通信欄にご記入くださいますようお願いいたします。

入会及び会費・寄付振込状況 (23.7.1.~9.10.) / カード振込 (23.6.1.~8.31.)

いつも変わらぬ皆さまのお支えに、限りなく元気を頂いています。有難うございます。

<会費のカッコ内は年度。カッコ無しの氏名のみは2023年度会費。> (敬称略)

賛助会員入会：中村さよ、

正会員会費：太田敬雄、太田琢雄、菅ヶ谷由美子(24)、小井戸登志子、中易圭子、菅ヶ谷純弘、

賛助会費：佐藤貴雄、堀越美津子、小川美幸、中村さよ、

一般寄付：太田敬雄、堀越美津子、中町文彦、中易圭子、菅ヶ谷純弘、村井田和夫、山縣英明、
花村ひろ子、岩本謙・松江、伊藤成、

多文化交流寄付：菅ヶ谷由美子、平林里衣、原啓太、松香光夫。

毎月寄付：ファン翠、樋本達之、根岸大輔、Rosdiana Febrianti、藤本恵大、内野春香、
片岡謙。

編集後記：☆9月発行予定のNLをお届けします。
☆ここに収められないチラシなどはメールでお送り
します。届かない方は iims.since2000@gmail.com
宛にメールアドレスをお送りください。
☆IIMS ホームページのリニューアルが有志の皆さん
の手で進められています。出来上がりが楽しみです。
☆IIMS のこれまでの活動を振り返った冊子。準備は
出来ているのですがまだお送りできる状況になって
いません。しばしお待ちを！(敬)

発行：特定非営利活動法人国際比較文化研究所
事務所：379-0124 群馬県安中市鷲宮 3413-3
電話：027-382-5998 FAX:027-382-6393
研究所：<http://www8.wind.ne.jp/mthc>
メールアドレス：iims.since2000@gmail.com
まなばる：<https://www.manapal.jp>
メールアドレス：mail@manapal.jp
郵便振替口座：加入者名 国際比較文化研究所
口座番号 00510-1-61974